

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
大宮小学校



【校訓】希望 【校風】楽しい学校 【学校の木】あおぎり

I 学校教育目標

あかるく かしく たくましく

II 目指す学校像

誰もが居心地よく、学び合い高め合う楽しい学校

1. 児童が生き生きと活動する学校
2. 地域とともに歩む学校



■所在地：さいたま市大宮区大門町 3-3
■FAX：048-645-1655

■電話：048-641-7051
■交通：JR 大宮駅徒歩 5 分

01 自ら考え実践する子の育成



第5学年児童は、おおきな時間（総合的な学習の時間）で、環境問題に取り組み、大宮の町のみならず、世界の危機的な現状を解決

すべき課題としてとらえました。その上で、テーマに分かれて、自分自身が解決につながる方策を考え実践しました。実践を振り返り改善して再び取り組むというサイクルの中で、方策の課題やよさを洗い出し、「現状や問題を大宮小や地域の皆さんに知ってもらおう」と、校内に向けての発表会の開催やポスターの作成等、主体的な活動につながりました。「協働的な課題解決」の実践を通して、自ら考え生き生きと活動する児童の育成を目指しています。



02 地域に貢献しようとする心の育成



本校では、奉仕の心を知り、根付かせる実践の場として「校外清掃活動」（ひる活動）を実施しています。昭和52年、JRCに加盟し、活動の一環として学校周辺及び氷川参道の清掃活動を開始しました。さらに、昭和60年、大宮駅前通りの歩道に設置されたフラワーポットの水やりを始めたことを契機に、清掃範囲を駅前まで広げたいという児童の意見を尊重し、現在までおよそ40年間以上継続して活動を行っています。「ホームタウン大宮をきれいにしよう」を合言葉に、全児童が火曜日の昼休みに、大宮駅前の通りや氷川参道、校内の清掃・美化活動に取り組み、ボランティア活動を通じて、地域に貢献しようとする心の育成を目指しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立

大宮東小学校



学校教育目標

明るい子 がんばる子 自ら学ぶ子

めざす児童像

人生 100 年時代の土台づくり

ゆめを大切にし、自ら学び、考え、行動する子



■所在地：さいたま市大宮区堀の内町3丁目145番地

■電話：048-644-0311

■FAX：048-645-4590

■交通：JR 大宮駅→東武バス「堀の内三丁目」バス停下車徒歩1分

01 『子どもがあすの授業を楽しみにする学校』を目指して

本校では、子どもたちの学校生活の大部分を占める「授業」の充実を力を入れています。教員一人ひとりの指導力の向上と指導法の改善のため、授業を見せ合い議論することや、OJTの実施を行っています。コーチングの視点を導入した授業の実施や問題解決型学習を推し進め、また、一人一台タブレット端末の積極的な活用を実践し、子どもたちにとって今日の授業が「おもしろい授業」だったと思えるような指導を実現したいと考えています。

学校課題研修では、「主体的に学びに向かい、コミュニケーション能力を生かして行動にうつせる東っ子の育成」～児童と教師の相似的な学びを実現する研修を目指して～の研究発表を行いました。各教科における「個別最適で協働的な学び」の学習を深く研究し、「自分の思いや考えを豊かに表現し、生き生きと伝え合うことができる児童」を育てることを目標に、授業の仕方や授業を行う環境づくりなどについて探求しています。



02 環境・福祉教育の充実を目指して

本校では、ペットボトルキャップ回収・コンタクトレンズの回収・インクカートリッジ回収・ベルマーク回収などのリサイクル活動を常時行っています。さらに毎月「リサイクルデー」「資源回収日」を設けて、リサイクルデーにはボランティア委員会を中心に牛乳パック回収を行い、地域ごとに連携しながら資源回収をしています。また、4年生の総合的な学習の時間では、自分たちの身近な地域を調べ、多くの人に親切な施設や道具等について考える取組をしています。6年生では、SDGs 17 項目をそれぞれ分担して調べ学習を行っています。こうした環境・福祉的活動を通して、子どもたち一人ひとりが未来の担い手としての意識を持ち、限りある地球資源を大切にしたり、人にやさしい町づくりをしようとしたりする姿勢を身につけさせたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立 大宮南小学校

学校教育目標

『心もからだも健康な子』

- ① : みんな明るく元気な子
- ② : なかよく助け合い努力する子
- ③ : みずから学び創造する子
- ④ : コミュニケーションを大切にする子



■ 所在地 : さいたま市大宮区吉敷町 3 丁目 8 7 番地 ■ 電話 : 048-641-0339
■ F A X : 048-641-0366 ■ 交通 : JRさいたま新都心駅東口徒歩 8 分



01 健康と福祉の課題を解決するために ～身近な取組から世界の課題を知るきっかけに～

アルファ・ジャパンの「ペットボトルキャップをワクチンに変える」活動に取り組んでいます。活動によって得たワクチンは、認定 NPO 法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会（JCV）を経由し、開発途上国に送付されています。

保健・給食指導では、石けんを使った手洗いの励行やハッピーファイルの取組（早寝・早起き、朝ごはん、歯磨き、うんちができたかどうか、学期に 1 度、1 週間の自分の生活を確認する活動）を継続して取り組んでいます。健康への意識付けや食育の推進を図り、自己の生活を振り返る機会を設けることで、子どもたちの健康の保持増進に向けた支援をしています。

これらの活動の目的は、「開発途上国の健康と福祉の現状と課題を知ること」、「知り得た課題を解決するためにできることを考え、行動すること」、「自己の健康の保持増進への意識を高め、行動すること」です。これらの取組を通じて、SDGs の目標 3「すべての人に健康と福祉を」に寄与していきたいと考えています。



02 大宮南中学校区の人権教育の拠点として ～義務教育期間を見通せる利点を生かして～

さいたま市立大宮南中学校の 9 割以上の生徒が本校の卒業生であることを鑑み、義務教育期間の前期において人権教育を推進することが非常に重要であると考えています。本校では、相手のことを考え、協力しながら生活できるように、子どもたちの指導及び支援を行っています。また、「いじめ防止基本方針」を策定し、子どもたちが主体となっていじめ防止に向けた行動をとることができるよう「いじめ撲滅強化月間」を定め、校長による講話やいじめ撲滅の学級スローガンづくりなどを行っています。

4 年生の「総合的な学習の時間」では、「共に生きる～みんなにやさしいユニバーサルデザイン～」をテーマに、誰もが心地よく生活できる共生の在り方について考えるとともに、自分も福祉社会の構成員の一人であるという自覚をもって生活していくことができるように学習を進めています。障害者体験活動や福祉設備・ユニバーサルデザインの調査活動を通して「自分たちにできることは何か」、自分なりの答えを見つけます。

令和 8 年度は、「人権の花運動」を実施します。花を育てる体験を通じ、命の尊さや思いやり、強力、感謝の心を学ぶ活動です。より多くの児童に「人権尊重の意識」を育みます。

これらの取組を通じて、SDGs の目標 10「人や国の不平等をなくそう」に寄与していきたいと考えています。

02 大宮南中学校区の人権教育の拠点として

～卒業教育期間を見通せる利点を生かして～



森林、湿地、山地、乾燥地など陸上の生態系と、内陸の淡水地域の生態系、および、それらがもたらす自然の恵みを、守り、回復させ、持続可能な形で利用できるようにする。あらゆる種類の森林の、持続可能な形の管理をすすめる。森林の減少をくいとめる。また、おとろえてしまった森林を回復させ、世界全体で植林を大きく増やす。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立

大宮北小学校



学校教育目標

「未来を拓き、心豊かにたくましく生きる力を育む」

目指す児童像	基本方針	行動目標
進んで学ぶ子	「よく学び、よく遊び、よく働く」子どもを育てる	【け】げんきにあいさつ
思いやりのある子		【や】やさしい笑顔で友だちいっぱい
明るく元気な子		【き】きれいな学校



■所在地：さいたま市大宮区宮町3-84

■電話：048-644-0123

■FAX：048-644-5603

■交通：JR大宮駅東口徒歩10分

01 「地域清掃活動」 自分たちの地域を大切に



本校では、地域の資産である氷川神社の参道の清掃を全校児童で行っています。

ねらいの一つに「地域を清掃することによって、地域社会の様子を知り、郷土に対する愛着をもつ。」と設定し、SDGsのターゲット11.4「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する」への第一歩として、まず自分たちの地域を守る心情を育て、他の地域も同じように大切にできるようにしたいと考えています。



【大宮氷川神社参道清掃】

また、1年生と6年生と一緒に活動するなど「異学年と一緒に活動することによって、自分の役割を自覚し、協力して責任を果たし交流を深める」ようにしています。それぞれの学年に応じた役割を果たすことで、自分の力で仕事を成し遂げる喜びや下の学年の子をサポートする責任感を感じられるようにしています。

02 地域の資産を生かした教育活動



本校ではSDGsのターゲット4.7「2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、すべての学習者が、持続可能な開発を推進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。」を実現させるための基盤として、人権教育・道徳教育を通じて豊かな心の育成に努めています。

また、図書館、消防署、博物館等の公共施設や社会福祉協議会等の地域の教育資源の活用による学習、公民館との連携による本校の教育活動の成果の発信をしながら、持続可能な社会の構築に必要な知識及び技能の習得に努めるとともに、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、12「つくる責任、つかう責任」の実現に貢献できる力の育成に努めています。

また、図書館、消防署、博物館等の公共施設や社会福祉協議会等の地域の教育資源の活用による学習、公民館との連携による本校の教育活動の成果の発信をしながら、持続可能な社会の構築に必要な知識及び技能の習得に努めるとともに、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、12「つくる責任、つかう責任」の実現に貢献できる力の育成に努めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

桜木小学校



目指す学校像

笑顔と希望にあふれ、みんなに愛される学校

～「認めて育てる」教育の推進～

- 1 学ぶ楽しさ、喜びが味わえる授業（学習指導）の実践
- 2 一人ひとりのよさを生かし、豊かな心を育む教育の推進
- 3 安心・安全で心豊かな学びを保障する教育環境の充実
- 4 心身ともに健康でたくましい子を育てる教育の実践
- 5 家庭・地域・関係諸機関との連携による教育の推進（コミュニティ・スクール）



■所在地：さいたま市大宮区桜木町4丁目328番地9

■電話：048-641-0276

■FAX：048-645-5934

■交通：大宮駅西口徒歩10分

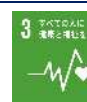
01 安心安全な学校生活を送るために



（1）豊かな心を育む教育の推進 児童一人ひとりに寄り添い小さなことにも耳を傾け、笑顔で下校できるように、「その日のことは、その日のうちに」の共通理解と徹底を図っています。また、「心を潤す7つの言葉」や「桜木小みんなの約束」「桜木小スタンダード」を教職員の共通行動の指針とし、児童が安心して学校生活を送れるようにしています。

（2）教育環境の整備 学習の場、生活の場として居心地のよい校庭・校舎・教室環境の整備をしています。また、廊下歩行や登下校指導、「交通安全教室」「避難訓練」などを通して学校内外において安全な行動がとれる児童を育てていきます。

02 学ぶ楽しさ、喜びが味わえる教育活動の実践



（1）ICT機器の活用 タブレット型コンピュータを活用しながら、個別最適化された学習を進めるとともに、わかること

の喜びや充実感を味わわせる授業を実践しています。また、オンライン授業、ドリル系アプリの活用を通して家庭との連携を図り、基礎・基本の徹底を図っています。

（2）体力向上の取組 運動量を確保し、わかる・できる・かかわる体育の授業を実践します。また、「スポーツタイム」「業間外遊び」を中心にした全校挙げての運動の生活化を図っています。



03 地域とともにある学校をめざして



（1）コミュニティスクールの充実 積極的に学校を開放し、豊かな情報発信を行い、家庭・地域との連携を推進します。スクールサポートネットワーク

を活用するとともに、「進んで挨拶のできる児童」の育成に向けて、コミュニティスクールの柱として話し合いを進めていきます。

（2）地域の方との豊かなかかわり 「保護者ボランティアによる読み聞かせ」「未来くる先生」「サッカーキャラバン」など地域の人材や施設を生かした活動を行い、希望を育む教育を推進しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
三橋小学校

三橋小学校教育目標

「よく学び なかよく遊ぶ 心も体もたくましい 三橋の子」

○よく考える子 (知)

○心の豊かな子 (徳)

○たくましい子 (体)

○かわかりを大切にする子 (コミュニケーション)



■所在地：さいたま市大宮区三橋 2-20

■電話：048-641-0792

■FAX：048-644-7322

■交通：JR 大宮駅西武バスより乗車「中並木」「並木中」で下車

01 地産地消を生かした食育の取組



(1) 「パクパクだより」の活用

本校では給食の時間に栄養士が作成した献立の説明「パクパクだより」を児童や担任が読み上げ、「食」に対する興味・関心をもたせるようにしている。動画や写真で生産者や調理員さんへの感謝の気持ちをもつとともに、栄養バランスを考えて食事する大切さを理解できるようにしている。その結果、残菜を減らす意識が高まってきた。

(2) 総合的な学習の時間の活用

5年生では総合的な学習の時間で「埼玉名物を作ろう」を題材として学習を行っている。まず、埼玉県の特産物を調べ、自分たちの住む地域についての関心を高めさせる。次に埼玉の特産物を使用した給食献立を考え、家庭で保護者と一緒に作ってみる。その中から栄養士と相談し、いくつか実際に給食のメニューとして取り入れている。例年子どもたちに好評で、その日は普段より残菜が少なくなっている。



【今日の献立】
・さつまいもご飯
・れんこんメンチカツ
・お月見ゼリー

「十五夜」について説明します。今日は十五夜です。毎年十五夜の日は月がとてもきれいなので、お月見をする風習があります。花びらにええ手をさし、お月見をおねがひするのですが、これは「秋にたくさん収穫がとれますように」という願いをこめる意味があります。また、十五夜は別名「芋名月」とも言われ、芋やさつまいもなどの収穫をお祝いする行事でもあります。今日の給食にも十五夜らしく、お月見やさつまいもを入れてみました。今夜は天気が晴れたら、お家の人とお月見をしてみてくださいね。

02 真の学力を身に付け 未来を切り拓く児童の育成



(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

全職員で『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実』をテーマに学校課題研究に取り組んでいる。ICTを活用し、児童が自ら課題達成に向けた学習方法を選ぶなどして、自己の学習を客観的にとらえ、自己調整しながら学習に取り組むことができるようにしていく。

(2) STEAMS教育の推進

理数的な課題解決的な学習を行い、児童の「課題解決能力」の向上に取り組んでいる。児童が社会的な課題を捉え、自分たちにできる解決方法を考え、それらを共有して妥当性について議論し、行動することで、「未来に生きる真の学力」の育成を図っている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



本校は、学校教育目標を「こころ豊かで、たくましく、進んで行動する児童の育成とし、家庭・地域とともにねばり強く生き抜く子どもを育てる大成小学校を目指し、教育活動の推進を図っている。

目指す子ども像は「げんきいっぱい（たくましい子）あいさついっぱい（明るい子）なかよしいっぱい（やさしい子）」



■所在地：さいたま市大宮区大成町 2-282 ■電話：048-663-1007
■FAX：048-663-9882 ■交通：JR 大宮駅徒歩 20 分

01 児童の安心・安全な学校生活のために



本校では、『いのちの支え合い』を学ぶ授業』を核とした研究を通して、教育相談体制の強化と、「SOS の出し方に関する教育」の充実に力を入れています。教育相談体制の強化としては、学校独自のアンケートの実施や、担任やさわやか相談員による相談、相談窓口の周知徹底、教職員の資質向上に向けた児童理解研修等に取り組んでいます。

日ごろから「SOS を出すことの大切さ」について繰り返し児童に伝え、「あおぞらポスト」等を用いて児童が辛いときや苦しいときには、自分から助けを求めることができる態度を育成するとともに、児童の小さな変化を見逃さないように見守り、適切な支援を行うことで、児童全員が安心して学校生活を送れるようにしたいと考えています。この取組を通じて、SDGs の目標 3「すべての人に健康と福祉を」に貢献していきたいと考えています。



02 よりよい生活に向けた、児童の主眼的活動のために



本校では、車いす、高齢者、アイマスク体験や、福祉に関わる方をゲストティーチャーとして招き、福祉の現状や問題点について把握することで、自分たちも福祉社会の構成員の一員という自覚をもつとともに、誰にとっても安心して住み続けられる町づくりのために、自分に何ができるかを考えることができるようにしたいと思っています。また、道徳の授業、特別活動等を核とした研究を通して「人の気持ちを考えながら、自分の考えを行動にうつせる児童の育成」に向けて、道徳の授業の充実や、各クラスで友達の良いところを認め合う活動や、学校や学級をよりよくしていくための話し合い活動の充実を図っています。また、成っこふれあい祭りや、レッツジョインクリーン活動を通して、地域と協力した子どもの育成をすることや、活動を通して、児童が下級生の面倒を見たり、地域の人とふれあいを楽しむ時間を大切にしたいと考えています。これらの取組を通じて、SDGs の目標 11「住み続けられるまちづくりを」、目標 16「平和と公正をすべての人に」に貢献していきたいと思っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
芝川小学校



学校教育目標

「かしこく（知識と知恵） たくましく（健康） ゆたかに（コミュニケーション）」

目指す学校像

「輝く笑顔 自ら学ぶ意欲あふれる学校」



■所在地：さいたま市大宮区天沼町2丁目1077番地 ■電話：048-644-7544
■FAX：048-644-5604 ■交通：JR 大宮駅から東武バス観音前バス停下車徒歩5分



01 多様な生物とのかかわり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、PTAの協力を得ながら様々な生物を育てている。飼育小屋ではヤギ、烏骨鶏、チャボ、名古屋コーチンなどを飼っており、児童が生物と触れ合う機会を設けてきた。休み時間や登下校の際にもヤギに興味をもって関わろうとする児童がたくさんいる。また本校の特色である「環境（ホタル）委員会」では、ホタルを幼虫から成虫になるまで育て、6月には校内ホタル観賞会を行っている。一連の活動を通し、ホタルの習性や育ち方などについて周知を図っている。また、委員会では校内で飼育しているホタル以外の生物の飼育にも関わっており、名前を募集するなどして、学校全体で生物を大切に育てていこうという意識が高まっている。これらの取組を通じて、目標15「陸の豊かさを守ろう」に貢献していきたいと考えている。

02 福祉教育・人権教育の一層の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、委員会での活動を中心にボランティア活動に励んでいる。赤い羽根や緑の羽根、災害に対する募金活動等の取組を通して地域福祉の推進について意識を高めている。さらに日々の学習の中では、各教科を横断して福祉教育・人権教育の充実を図り、児童の意識の高揚を目指している。盲導犬の学習や、地域の施設との交流等の活動を通して、誰もが共に暮らしていくために自分にできることについて考える機会をつくっている。さらに、スマホ安全教室など、外部講師を招きいじめ予防に関連する学習の機会を設定し、いじめやネットトラブルについて自分事として考えることができるようにしている。目標10「人や国の不平等をなくそう」につなげていきたいと考えている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では S D G s 教育を推進しています。



～ かがやく瞳 みんな仲良し こぼれる笑顔 ～

- 1 「心豊かな子」「進んで学ぶ子」「健康な子」
- 2 「よさを見付け よさを認め よさを伸ばす」
- 3 「通いがいい・通わせがよい、働きがいがある学校」

■所在地：さいたま市大宮区上小町 1 3 3 7 - 1 ■電話：0 4 8 - 6 4 4 - 6 2 5 1
 ■FAX：0 4 8 - 6 4 4 - 5 6 3 3 ■交通：大宮駅西口下車 徒歩 2 5 分

0 1 グローバルな視点を育むために



本校では、ボランティア委員会で S D G s についてのポスター作りや緑の羽根募金、ユニセフ募金等の活動に取り組んでいます。ユニセフ募金の時には、埼玉県ユニセフ協会から、「ユニセフってなあに？」の展示パネルと水がめを貸りて、児童がユニセフについてより具体的に学ぶようにしました。水がめは、実際に水を入れた時の重さを体験できるように、同じくらいの重さのものを準備しました。重たい水がめを何度も運んでいる子どもたちが世界にいることを学び、その子たちのために何ができるかを考えてもらうきっかけになったと思います。委員会の仕事を通して、地球の今を知り、未来を考え行動する気持ちを今後も育てていきます。



0 2 きれいな学校・さいたま市を目指して



本校では、4 年生でごみスクールを行っています。ごみを出すときの種類、3 R や食品ロス等について学びました。ごみを処理する費用やクレーンの大きさなど授業だけではわからないようなことも教わりました。ごみ収集に従事する方々から、ごみを収集する際に「うれしかったことや困ったこと、ごみ出しのルールを守らないとどんなことが起こるか」について聞く中で、児童は「みんなで協力してきれいなさいたま市にしよう」という思いをもちました。また、全校でクリーン活動を行っています。学校教育目標の 1 つである「心豊かな子」との関連で、校庭や学校の回りをきれいにしようとする心を育てるとともに、きれいで気持ちのよい学校環境づくりに励んでいます。

本校では、4 年生でごみスクールを行っています。ごみを出すときの種類、3 R や食品ロス等について学びました。ごみを処理する費用やクレーンの大きさなど授業だけではわからないようなことも教

